

日本史 B

単位数	2 単位	対象学年	2 学年	対象コース・クラス	看護福祉進学・情報ビジネス 調理パティシエ・服飾デザイン
使用教科書	詳説 日本史B (山川出版社)	副教材等	詳説日本史図録 (山川出版社)		

1. 学習の到達目標

我が国の歴史と展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史に関連づけて総合的に考察させ、我が国の伝統文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

1. 中間考査・期末考査の結果、提出物、授業中の積極的発言や作業への取り組み状況などを総合的に評価する。(評価の観点か4つあることを考慮する。)
2. 収集した日本史Bについての諸資料を、客観性や公正さにも配慮した上で取捨選択して活用する。

3. 学習上のメッセージ

- ・授業で進む範囲については、必ず教科書を読んでおくこと。
- ・解説、授業内容と教科書の記述内容、板書事項、図表など、しっかりその都度照合しながら、授業中に理解しようと努めること。
- ・重要事項のみならず、欄外の補足も丁寧に読むと理解に役立つ。
- ・ノートを使い方(毎時間配布するプリントの貼付方法・補足事項の記入方法等)を年度の冒頭の授業で説明するので指示に従う事。

4. 評価の観点・方法 (年間の評定)

評価は次の4つの観点から行う。

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中している。 ・重要と思った事項や図を書きとめ、ノートの取り方を工夫している。 ・必要に応じて資料などを活用している。 ・期限を守って、課題の提出が出来る。 ・疑問点を積極的に質問して、解決しようとしている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な事象について、地理的、歴史的な因果関係を主体的に追求し、物事の本質を関連づけて考えることができる。 ・身の回りで起こる事象の社会(地理的・歴史的)背景について関心を持ち本や新聞・テレビ等で幅広い情報を得ようとしている。
技能	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料を活用して疑問点を解決できる。 ・統計資料などを読みとり、有用な情報を得ることができる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史展開を世界史的視野から総合的に理解し、日本の文化と伝統の特色について認識を深めるとともに、歴史的思考や資質を養う。 ・世界の歴史の流れを把握し、その地域・文化圏の各時代の特色と歴史の流れを理解し、その知識を身につける。各地域・文化圏において重要な意味をもつ人物・歴史的イベントをその地域の歴史に関連づけて理解する。

このため、評価は次のものを対象とする。

- ① 年5回の定期考査
 - ② 授業中の発問に対して回答を記入して提出されたプリント等
 - ③ 授業中板書を写したノートの提出
 - ④ 広島桜が丘高等学校の生徒として規則に則った服装での学習活動の参加状況
- 1年間の評定は、年間を通じて、総合的に評価する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
第1章 日本文化のあけぼの	1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器・縄文時代の特徴を説明できる。主な遺跡を確認する。 ・狩猟 ・採集社会と農耕社会の違いを理解する。 ・古墳文化の成立・発展とヤマト政権の発展の関連を中国の文献や金石文を含め、考える。
1 学期中間試験		
第2章 律令国家の形成	1 飛鳥の朝廷 2 律令国家への道 3 平城京の時代 4 天平文化 5 平安朝廷の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤマト政権が、律令や仏教を取り入れながら、中央集権化を進める過程を理解する。 ・藤原京から平城京・平安京への変遷を、奈良・平安初期の政治の変遷とともに理解する。
1 学期期末試験		
第3章 貴族政治と国風文化	1 摂関政治 2 国風文化 3 荘園と武士	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原氏が摂関として権力を掌握していく過程と、その時期の政治の特徴を理解する。 ・唐文化を消化した国風文化の特徴を美術作品等をおして理解する。 ・武士が実力をつけ、政治に介入していく過程を理解する。
2 学期中間試験		
第4章 中世社会の成立	1 院政と平氏の台頭 2 鎌倉幕府の成立 3 武士の社会 4 蒙古襲来と幕府の衰退 5 鎌倉文化	<ul style="list-style-type: none"> ・院政および平氏政権の特徴を理解するとともに、両者の関係に留意する。 ・鎌倉政権の成立過程と特徴を理解する。 ・「もののふの道」にあらわされる武家社会の特徴を理解する。 ・貨幣経済が浸透しつつあった武士社会に、元寇が与えた決定的影響を理解する。 ・武家社会で形成された文化の特徴を、貴族社会から浸透してきた文化に留意しつつ、理解する。
2 学期期末試験		
第5章 武家社会の成長	1 室町幕府の成立 2 幕府の衰退と庶民の台頭 3 室町文化 4 戦国大名の登場	<ul style="list-style-type: none"> ・室町幕府の、成立の過程および守護大名との関係を理解する。 ・農業生産の発展および貨幣流通の進展が庶民の台頭をもたらしたことに留意する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・貴族・武士にくわえ、庶民が文化の担い手として出現する背景を理解する。 ・戦国大名の領国支配の特徴に留意する。
学年末試験		

